

飯伊 産業経済動向

No.468 2018/3
(30. 4. 25 発行)



http:// www. iidashinkin. co. jp
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132

飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数		前月比		前年同月比	
手形交換高 (飯田手形交換所扱)	枚数	3,186	枚	△	9.7 %	△	22.5 %
	金額	4,515,904	千円		5.9 %	△	10.1 %
うち不渡発生状況	枚数	1	枚	(前月 1 枚)		(前年同月 0 枚)	
	金額	405	千円	(前月 223 千円)		(前年同月 0 千円)	
倒産件数 (負債額1千万円以上)	県内	11	件	(前月 8 件)		(前年同月 8 件)	
	飯伊	3	件	(前月 0 件)		(前年同月 2 件)	
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数)(2月)		54	戸		3.8 %		28.6 %
有効求人倍率(パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内)(2月)		1.65	倍	(前月 1.63 倍)		(前年同月 1.48 倍)	
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	3,854	台		63.6 %	△	4.1 %
	中古車	811	台		53.0 %	△	8.3 %
軽自動車新規登録台数 (軽自動車協会連合会長野事務所) (2月)	新車	4,594	台		21.7 %		7.6 %
	中古車	767	台		9.1 %		3.6 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	116,743	台		20.3 %	△	0.3 %
	出	118,206	台		20.9 %		0.2 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	77,583	台		18.3 %		1.9 %
	出	74,599	台		19.0 %		1.0 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	13,942	台		10.7 %		3.9 %
	出	14,497	台		9.8 %		2.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	39,918	台		23.8 %	△	0.8 %
	出	39,467	台		26.7 %	△	2.2 %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		207	件		30.2 %	△	22.2 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		5	件	(前月 10 件)		(前年同月 18 件)	
高速バス乗車人数	飯田～新宿	29,392	人		32.6 %		1.8 %
	飯田～名古屋	20,443	人		21.3 %		3.9 %
	飯田～長野	10,045	人		18.6 %	△	1.4 %
市内循環バス乗車人数	左回り	3,842	人		27.9 %		2.9 %
	右回り	3,597	人		20.7 %	△	4.7 %

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ (http://www. iidashinkin. co. jp) に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみなさまとともに行っています。



100%植物性インキ
[リチウム]100% を使用しました。

再生紙を
使用しています

概況

製造業

3月の製造業の業況判断指数(DI)は、プラス31.0で、前月から1.4ポイント上昇。翌月予測はプラス26.7で、前月から7.7ポイント下降している。

電気、精密機械器具の売上は、前月比やや減少～横ばい。やや減少とする業者にあっても前年比が増加していることもあり、景況感が悪化した業者は見られない。半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高は、前月比業者により増減分かれる。「高止まりの状況」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者は見られない。先行きは強気な見方が多い。産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、横ばい～増加。「高めで安定」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者も少なくない。建築用金属製品の売上は、前月比、前年比とも減少も、景況感の悪化には至っていないとの声が寄せられた。自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも業者により増減分かれる。小型電磁機器の販売の前月比は、やや減少～横ばい。一部に前年比もやや減少との声も聞かれたが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。FA関連モーターの販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加しており、景況感も好転との声が寄せられた。光学機器の受注は、前月比やや増加～増加。前年比は横ばい～増加で、総じて景況感は好転している。電気、電子製品の受注は、受注は前月比やや減少も、販売は増加しており、景況感も良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや増加。前年比も増加との声が多い。景況感には温度差があり、「良い方向性に進んでいる」「都市部やインバウンド需要は良いのかもしれないが…」などの声が聞かれた。水引製品の販売の前月比は、「当月は、年間通じて祝儀用品の販売が最も多かった」など、横ばい～増加。漬物の販売は、前月比増加、前年比やや減少との声が聞かれた。

建設業

3月の建設業の景況DIは、マイナス25.0で、前月から6.2ポイント下降。翌月予測DIも、マイナス50.0で、前月から14.7ポイント下降した。

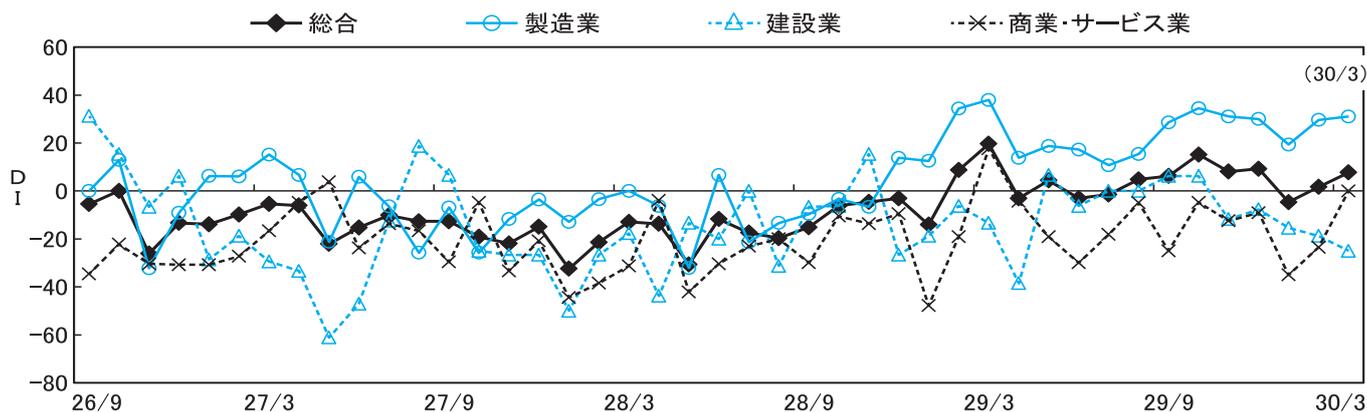
当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約11.7億円で、前月比は6%増加、前年比は55%減少している(4月15日調査時点)。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。規模の大きな業者を中心に景況感悪化との声も聞かれた一方、「補正予算工事が受注できた」「補正予算で発注になったが、受注できた」こともあって、景況感にはさほど悪化していないとする業者も多い。

当地区の2月の住宅着工戸数は54戸。前月比4%増加、前年比は29%増加している。当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「民間の造成や住宅着工も減少気味」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も少なくない。先行きも、当面弱含みとの見方が多い。

商業・サービス業

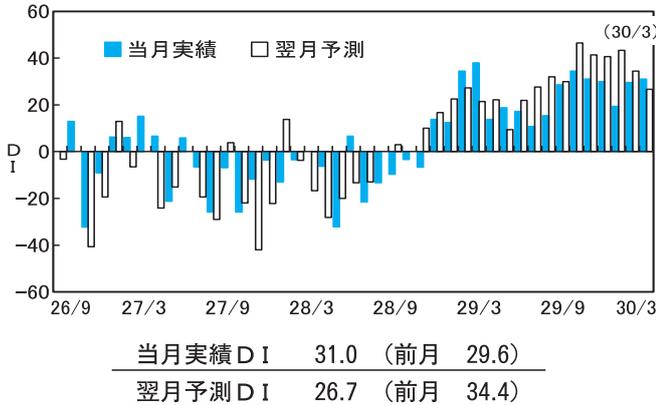
3月の商業・サービス業の景況DIは、0.0と、前月より23.5ポイント上昇。翌月予測DIも、マイナス9.5で、前月より2.3ポイント上昇している。食料品の売上は前月比横ばい～やや増加。前年比はやや減少との声も。製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感に変化は見られない。家事用品卸の売上は前月比増加も、前年比やや減少との声が寄せられた。電化製品の売上は、前月比横ばい、前年比やや減少、「夏物在庫も入り始め、今後力を入れていきたい」などの声。OA機器の売上は、前月比、前年比共にやや減少との声。衣料品の売上は、前月比増加。前年比はやや減少～横ばい。「学校向けの販売は、生徒の減少が少し影響している」などの声。娯楽用品の売上は、前月比やや増加も、前年比は減少という。土産物関連の売上は、前月比横ばい～増加、一部に前年比もやや増加との声。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比64%増加も、前年比は4%減少。2月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比22%増加、前年比も8%増加。自動車販売、整備の売上は、前月比横ばい～増加、一部に、前年比もやや増加との声。一部に景況感が好転した業者も見られた。市内料理店の売上は、前月比増加、前年比は業者によりまちまち。屋神温泉の売上は、前年比減少との声。「4月の花祭り期間の予約が入り始めた。人出に期待するが、花の咲き方が早く、先行き不透明。また、4月15日のナイトツアー開始も重なり、人出不足で満足に対応できるか心配」などの声。タクシーの売上は、前月比、前年比共に増加も、「消費の上向き感は全く感じられない」などの声が寄せられた。

飯伊地区景況DI (本誌調査)



地区内製造業の景況判断指数

飯伊地区景況DI（製造業）



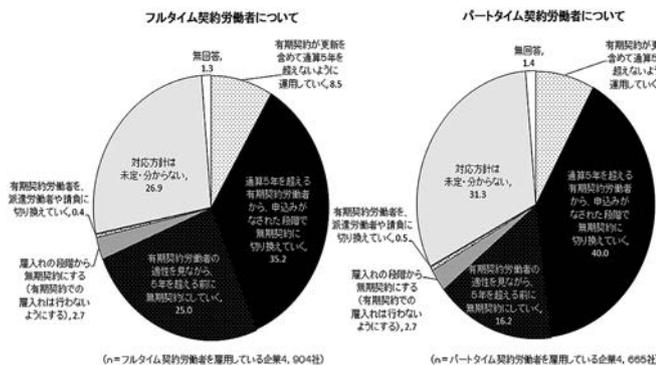
当月の製造業の業況判断指数（DI）は、プラス31.0で、前月から1.4ポイント上昇。翌月予測はプラス26.7で、前月から7.7ポイント下降している。

有期労働契約から無期労働契約への転換

平成24年8月に成立した「改正労働契約法」により、平成25年4月1日以降に開始する有期労働契約が5年を超えて反復更新された場合は、有期契約労働者の申込により、期間の定めのない労働契約（無期労働契約）に転換されることとなったが、平成30年4月以降、無期労働契約への申込権が本格的に発生する。

それを控えた去る平成29年5月、フルタイム契約労働者あるいはパートタイム契約労働者を雇用している企業を対象に、「無期転換ルールにどのような対応を検討しているか」尋ねると、いずれも「通算5年を超える有期契約労働者から、申込みがなされた段階で無期契約に切り換えていく」（フル35.2%、パート40.0%）がもっとも多く、「対応方針は未定・分からない」や「有期契約労働者の適性を見ながら、5年を超える前に無期契約にしていく」等が続いた。

図1 無期転換ルールにどのような対応を検討しているか



この中で、フルタイム契約労働者を雇用する企業の63%、パートタイム労働者を雇用する企業の59%が、何らかの形で無期契約労働者への転換を考えているが、その理由としては、「有期雇用契約労働者の長期勤続・定着が期待できる」とする回答が最も多かった。

当月の本誌調査でも「社員の定着率を上げることが課題」とする声が少ないが、「雇用調整が必要になった時の対処方法」、「正社員と有期雇用契約労働者との間の仕事や労働条件のバランスのとおり方」「業務量の変動に伴う労働条件の調整方法」といった問題は

ありながらも、無期雇用契約への転換も選択肢の一つかもしれない。

図2 無期契約に転換するメリット（複数回答）

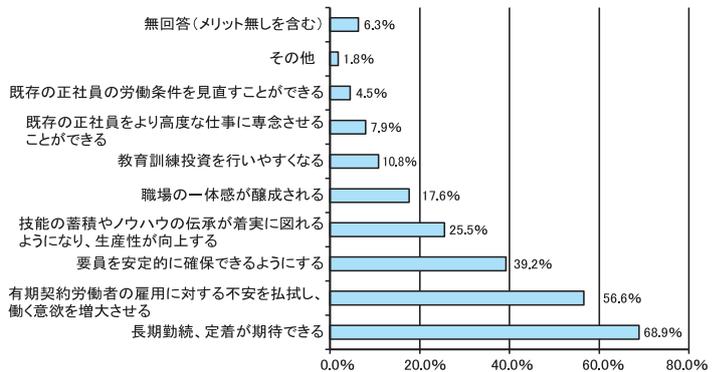
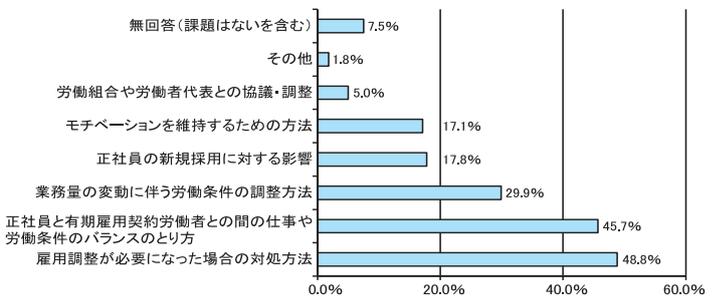


図2 無期契約に転換するデメリット（複数回答）



（図表：出典は全て独立行政法人労働政策研究・研修機構）

機械加工製造業

電気、精密機械器具の売上は、前月比やや減少～横ばい。やや減少とする業者にあっても前年比が増加していることもあり、景況感が悪化した業者は見られない。先行きは上向きとの声も。当月、原材料、資材価格に大きな動きはなかった様子。雇用面で、「不足」「社員の定着が課題」などの声。一部に、設備面で積極的な声が聞かれた。

半導体、液晶製造装置向け部品の受注残高は、前月比業者により増減分かれる。減少したとする業者にあっても「踊り場の状況ではないか」との声が聞かれたほか、「先月に続き車載、スマホ向け増産継続」「IT関連増産」「FPD関連良好」「高止まりの状況」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者は見られない。先行きは強気な見方が多い。「アルミ、ステンレス」など原材料価格の上昇を指摘する声。雇用面では、「若干不足。補充予定」「経験者募集」などの声が多い。設備面で、一部に積極的な声が聞かれた。

産業機器や医療機器向け部品の受注、販売の前月比は、横ばい～増加。「棚卸時期で流れを心配したが、問題はなかった」「生産増加。納期厳守」「ロボット、半導体、自動車は忙しい。同業も忙しそう」「海外向けは動きが良い」「納期の長いものが多い。大口が多く売上増」「外注先の溶接屋さんには忙しさが続いている。塗装屋さんも多忙で納期が長く必要。そのため前倒しで加工が必要になり苦戦」「高めで安定」「少し踊り場的な感じもする」「製品によってはやや減少したものもあり、動向を注視」などの声が聞かれ、景況感が好転した業者も少なくない。

「次月から鉄、ステンレス値上げ」「ガス代、燃料代の値上げがある」など原材料、資材価格が上昇基調に

あるとの声は多い。一方製品価格については、「単価の値上げは厳しい」「単価交渉中」「製品価格下降」などの声が聞かれた。雇用面では現状維持との声が多いが、「不足気味。派遣でカバー。人材の取り合いになっていることは確か」「新規採用複数名予定」などの声も。設備面でも「予定あり」「秋ごろ入れ替え予定」「検討中」「複数台予定」など積極的な声が複数寄せられた。

建築用金属製品の売上は、前月比、前年比とも減少も、「この時期としてはまあまあ」など景況感の悪化には至っていないとの声が寄せられた。「物件は豊富。一方同業の減少などもあって、売り手市場になりつつあるのではないか」という。先行きは「増加傾向になる。見通しは明るい」との声が聞かれた。原材料、資材価格上昇の様子。雇用面、設備面で積極的な声。

自動車向け部品の販売は、前月比、前年比とも業者により増減分かれ、「ハイブリット車関連部品は依然好調」といった声が聞かれた一方で、景況感が悪化した業者も見られた。「依然として人手不足。派遣社員は、時給が高いところに流れる傾向があり定着率が悪い。パートさんも、3、4月は学校行事や風邪などの欠勤者が多く工数不足」との声が寄せられた。

小型電磁機器の販売の前月比は、やや減少～横ばい。一部に前年比もやや減少との声も聞かれたが、こうした業者でも景況感の悪化には至っていない。原材料、資材価格が上昇基調という。雇用面では現状維持との声が多い。設備面で積極的な声が聞かれた。

FA関連モーターの販売は、前月比概ね横ばい、前年比は増加しており、景況感も好転との声が寄せられた。「産業機械向け増加、車載向けは維持で推移している」という。先行きの見通しも良好との声。

光学機器の受注は、前月比やや増加～増加。前年比は横ばい～増加で、総じて景況感も好転している。「今年に入り急激に受注が増加」などの声。原材料価格上昇との声は多い。雇用面では、「増員」「ほぼ充足しているが、今後若干の増員を予定」など積極的な声が多い。設備面でも積極的な声が聞かれた。

電気、電子製品の受注は、「開発要員不足で受注を断るケースが増えている」など前月比やや減少も、販売は増加しており、景況感も良好との声が寄せられた。

地場産業

半生菓子、菓子原料等の売上は、前月比やや増加。前年比も増加との声が多い。景況感には温度差があり、「良い方向性に進んでいる」「一般は昨年並みだが、増加した販路もある」「都市部やインバウンド需要は良いのかもしれないが…」などの声が聞かれた。「運賃の他、包装資材も値上げの話がある」「包装資材値上げ」など原材料、資材価格の上昇を見込む声が複数。雇用面では現状維持との声が多いが、一部に「複数入社」との声も。設備面では積極的な声が複数聞かれた。

水引製品の販売の前月比は、「当月は、年間通じて祝儀用品の販売が最も多かった」など、横ばい～増加。一部に景況感が好転した業者も見られた一方、「後継者難などもあって、中小企業の廃業等で売上の減少は続いている」「縁起物の今年の受注がほぼ出た。概ね昨年並み」などの声も聞かれた。「価格改定に向けて営業努力を継続中。量販店の合併などの動きに注意している」など製品価格の上昇を考える声は多い。「新製品の一部分が好転しているが、大量生産ができない」「水引コンテストがあった。全国から多数応募があったとのこと。水引が手芸やクラフトといった趣味の世界になりつつあるような気もする。ファンに支えても

らうしかないのだろうか」「水引コンテストに期待。大量販売できる製品の発掘、開発に集中すべきだろう」などの声が聞かれた。

漬物の販売は、前月比増加、前年比やや減少との声が聞かれた。「特別に大きな動きは見られない。暖かい日が続くようになり、原料の安定を期待する」との声が寄せられた。

その他製造業

食品関連包材の生産は、前月比概ね横ばいとの声。当月、原材料、資材価格や製品価格に大きな動きはなかったという。

印刷、出版関連の売上は、前月比増加も、前年比は減少との声が聞かれた。「新年度に向けた官公庁の見積もり依頼が多い月だった。昨年3月は飯田市議選などがあったが、今年は匹敵するものがない」「民間からの仕事、特にチラシが減っている」などの声。雇用面で「しばらくは現状維持。しかし、高齢化が進んでいる」との声が聞かれた。設備面で積極的な声が寄せられた。

衣料品の受注は、前月比概ね横ばいも、前年比やや増加、景況感も好転との声が聞かれた。「短納期生産に拍車がかかっている。実需に応じて生産するといった感じで生産計画も立てづらいが、サイクルが合ってくればラインを空けずに生産できそう。方法を模索している」という。「新しい実習生制度の影響がある。人件費が加工賃に追いつかず廃業する工場が増えている。海外工場でもワーカー不足と経費増で苦戦している」との話も聞くとの声が聞かれた。

住宅機器、オフィス家具や店舗用什器など家具の生産は、前月比、前年比ともやや増加との声が寄せられた。「全体に年度末需要の駆け込みで仕事が多く出回っており、売上は増加」というものの、景況感もさほど好転しておらず、これには、「資材価格は、全体的に確実に上がった」にもかかわらず、「客先は容認しない動きが強い。直近の課題は価格転嫁である」といった事情があるという。「4月以降は落ち着いていく見通し。全体的には少な目に戻るのではないかと」先行きは弱含みとの声が聞かれた。雇用面で「人手不足の中、昨年から増員することができた」との声が聞かれたほか、設備面でも積極的な声が聞かれた。

【企業からのコメント】

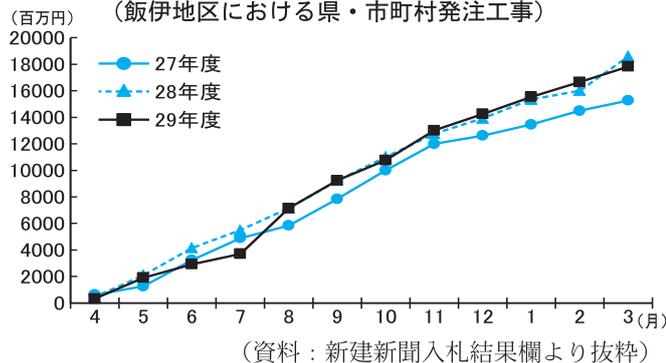
- ★増員することができた。成果を上げられるようになるまでの経費も考えないではないが、定着してもらいたい。
- ★今までの製品に満足してはならないと、強く思う。
- ★ハローワークの求職者も少ないという。
- ★昨年2、3月はインフルエンザで欠勤者が多かったが、今年は1月に流行し、当月はそれほどでもない。

集積回路、機械受注・鋳工業生産指数の推移



入札額累計の推移

(飯伊地区における県・市町村発注工事)



(資料：新新聞入札結果欄より抜粋)

当月景況DI -25.0 (前月 -18.8)

翌月予測DI -50.0 (前月 -35.3)

官公需

当地区における、当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約11.7億円で、前月比は6%増加、前年比は55%減少している(4月15日調査時点)。

当月の調査先企業の受注残高の前月比は、業者により増減分かれる。規模の大きな業者を中心に景況感悪化との声も聞かれた一方、「補正予算工事が受注できた」「補正予算で発注になったが、受注できた」こともあって、景況感はさほど悪化していないとする業者も多い。「全体的に工事量は減少している。国は増えているが、県、市町村が減少」「前倒し発注が、金額、件数ともに少ないとは言えるものの、ある」「補正予算で受注が増加」「次年度の受注契約締結」「平成30年度は、少しずつ先が見えてきた感」「大型物件が減少し小規模工事が主体。組織に合った受注をしていく」「下請け、パートさんは当面休工」などの声。

先行きに関し、「例年4～6月は閑散期」といった事情もあって弱含みとの声が多いが、「新年度は早期発注の見込みがある」「新年度予算が通過した。早期発注に期待」などの声も聞かれた。

「年度末で工事完成」「昨年からの繰り越しが終わってくる」「受注は低調だが、繰り越し工事は進んでいる」など、完工高は増加との声が多い。

「4月以降の受注確保のため競争激化。そうした中、国の工事は業者が限られていて県や市ほど競争は激しくない。予算通過で国の工事も発注になるが、国の工事に対応できる業者とそうでない業者の差は広がると思われる」との声が寄せられた。

工事単価に関し、「当月やや上昇。今後も上昇を見込む」「やや上昇の様子。上がってくるとの情報がある」などの声が聞かれた。

民需

当地区の2月の住宅着工戸数は54戸。前月比4%増加、前年比は29%増加している。

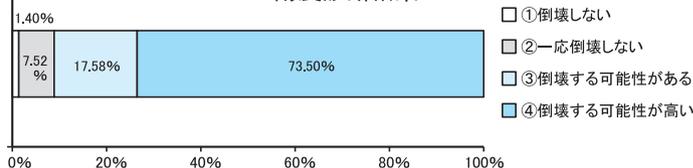
当月の調査先企業の受注残高の前月比は、やや減少～横ばい。「全般に手持ちは減っている様子」「小規模リフォーム、解体工事のみ」「春になってリフォーム、新築は立ち上がりだったが、公共、一般工事は見込みが少ない」「大型工事が終わってきて、手持ちが減少」「民間の造成や住宅着工も減少気味」などの声が聞かれ、景況感が悪化した業者も少なくない。先行きも、当面弱含みとの見方が多い。

一部に、当月、資材価格が上昇との声。また、施工単価が、昨年よりは上昇したとの声も聞かれた。

昭和25年～平成12年5月に着工した木造住宅の耐震性 2016年4月14日に発生した熊本地震から2年が経過

した。熊本地震では、「旧耐震基準」の住宅だけでなく、「新耐震基準」であっても、平成12年の接合部等が規定される以前の木造住宅にも倒壊等の被害が見られたという。日本木造住宅耐震補強事業者協同組合によると、この時期までに着工された木造在来工法2階建以下の建築物25,918件(昭和25年以降。平均築年数36.09年)中、9割を超える住宅が耐震基準を満たしていなかったという。

耐震診断結果



注：・対象住宅は、昭和25年～平成12年5月までに着工された木造在来工法2階建以下の住宅で、平成18年4月1日から平成29年11月30日までに耐震診断された25,918棟。

・(一社)日本建築防災協会的一般診断に基づいて行った耐震診断の評点により、4段階で集計。③、④が耐震性を満たしていないとされる。

(資料：日本木造住宅耐震補強事業者協同組合)

建設資材

鋼材の売上は、前月比増加も、前年比はやや減少との声も寄せられた。「流通は3月に入って低下。南信地区全般にあまり良くなかった。後半若干持ち直したが、前年の水準には届かなかった」という。「次月上向きになることを期待。復調とまで言えるかは分からないが、客先には仕事が増えているとの声も。もっとも、仕入先からは、流通減の感触があるとの声も聞かれた」などの声。鋼材価格は、「一部品種で動きがあったが、全体には横ばい」という。

生コンの売上は、前月比、前年比とも減少。「主な出荷はリニア関連工事、三遠南信自動車道関連工事、天竜川護岸、床固工事、砂防、治山工事に関わるもの。JR発注のリニア関連工事は前月よりやや増加」という。一部に「堰堤工事の打設が終わり、今後出荷量が低迷しそう。次の工事の発注を期待」など景況感が悪化した業者も見られた。

骨材等の売上は、「3月の出荷は少なかった」など、前月比、前年比ともに減少との声も聞かれたが、「弊社の場合は特定現場への大口供給と年度末が重なり、出荷量が多かった」との声も。しかし、こうした業者にあっても「本来期待すべき生コン向けの出荷は、例年からすると少ない月だった」という。「リニア関連では、準備工、仮設工、作業抗等既に始まったところがあり、地区によって多少の動きが出ている」などの声も寄せられた。

【企業からのコメント】

- ★地元業者には手持ち工事がある業者も、ない業者もあり、差が生じている。
- ★民間工事でも、下請けに頼らず、得意分野で営業していく。
- ★久しぶりに使った資材だが、二年前と比べると2割ほど上がっているものがある。

住宅建築確認申請受付状況(※本誌調査による概数)

3月 ○飯田建設事務所分

新築 6件 (前年 11件)

増築 2件 (前年 4件)

○飯田市役所分

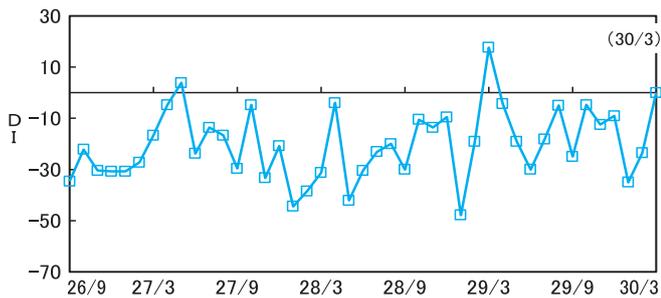
新築 20件 (前年 21件)

増築 1件 (前年 0件)

※指定確認検査機関分を含む

商業・サービス業

商業・サービス業DI



当月景況DI	0.0 (先月 -23.5)
翌月予測DI	-9.5 (先月 -11.8)

商業

食品品の売上は前月比横ばい～やや増加。前年比はやや減少との声も。「来店客は相変わらず減少傾向」「地区の総会、送別会等仕出しの注文があり、多少は動きが良かった」などの声。「一部商品仕入単価増」など、依然仕入価格が上昇基調にあるとの声が多いが、「野菜類が徐々に安定してきた」という。

【青果卸売市場】

売上は前月比、前年比共にやや増加という。野菜は、「価格は、葉物中心に高値が続いていたが中旬以降は次第に下がり始め、土物は前年より安いこともあり、野菜全体では入荷量で前年比9%増、価格は4%安と販売しやすい価格になってきた。3月は気温が異常に高く、野菜の生育も早い。今後は豊富に出回る予想」との声。果実は、「柑橘類の不作による入荷減で価格は2割ほどの高値、苺はほぼ前年並みの販売となった。果実全体では入荷量前年比17%減、価格は11%高であった」という。

製菓、製菓用品卸の売上は、前月比やや増加、景況感に変化は見られない。家事用品卸の売上は前月比増加も、前年比やや減少、「暖かい日が続く、冬物が全く売れなかった」との声が寄せられた。「大、中メーカーから紙の値上の通知が来たが、毎年このことで、直ちに値上げになるとは思えない」との声。

電化製品の売上は、前月比横ばい、前年比やや減少との声。「工場関連の設備投資が進み、電子機器、制御機器が好調。今後も継続的な売上が見込める」「急激な気温の上昇で、小型エアコンの動きも良い」「夏物在庫も入り始め、今後力を入れていきたい」などの声がかかれた。

OA機器の売上は、前月比、前年比共にやや減少との声。「年度末需要期であり、他の月と比べ忙しかったが、例年ほどではなかった」「年度末ということもあってスチール家具の商談が多かった。成約とならなかった物も含めると、見積依頼の件数は増加傾向」などの声。

衣料品の売上は、前月比増加。前年比はやや減少～横ばい。「学校向けの販売は、生徒の減少が少し影響している」「買い控えや購入単価の低下など、依然衣料品の消費は厳しい」などの声。

娯楽用品の売上は、「春休みの影響」もあって前月比やや増加も、「昨年3月に発売したヒット商品の反動」もあって、前年比は減少という。

土産物関連の売上は、前月比横ばい～増加、一部に前年比もやや増加との声。「集客力の低下に対し、行政を交えた対策が必要と考える」との声が寄せられた。松本自動車検査登録事務所管内の自動車新規登録台数は、新車は前月比64%増加も、前年比は4%減少。

中古車は、前月比53%増加、前年比は8%減少した。2月の県全体の軽自動車新規登録台数は、新車は、前月比22%増加、前年比も8%増加。中古車は、前月比9%増加、前年比も4%増加した。

自動車販売、整備の売上は、前月比横ばい～増加、一部に、前年比もやや増加との声。「年度替わりもあって大変忙しい月」「新車、中古車ともに昨年比倍台数を伸ばせた」などの声が聞かれ、一部に景況感が好転した業者も見られた。先行きは「例年4月～5月は中古車の売れ行きが悪化する」など余弱含みという。「新規参入の整備工場や中古車販売店が目立つ。販売方法も格安リース料金など多様化している。お客様にわかりにくいケースもあり、後になってトラブルが起こらないよう説明できるようにしたい」との声が聞かれた。

サービス業

市内料理店の売上は、前月比増加。「1、2月、前年を下回ったので心配したが、3月までの累計比で前年を上回った。3月が良かったことを物語る」などの声。前年比は業者によりまちまちで、「送別会等の需要が例年より多く入った」「売上が今月に入って伸びた」「昨年に比べ宴会が少なかった」など景況感も分かれる。先行き「次月も花見、歓迎会等で予約が入り、ゴールデンウィークまでは何とかつながりそう」など上向きとの声も。「野菜を中心に仕入が低下。利益率アップにつながっている」との声の一方、「魚など」では「運送代が上がったが、販売単価は上げられない」という。

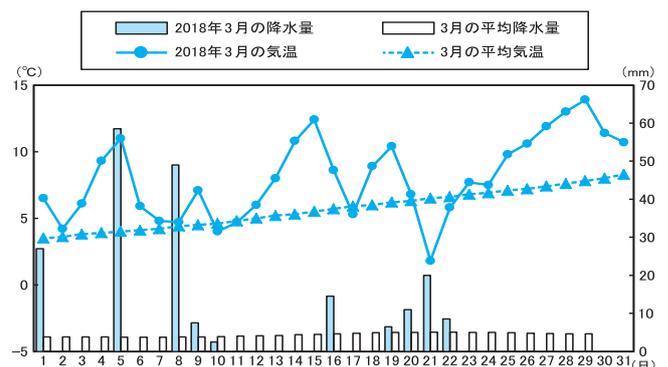
昼神温泉の売上は、前年比減少との声。「4月の花祭り期間の予約が入り始めた。人出に期待するが、花の咲き方が早く、先行き不透明。また、4月15日のナイトツアー開始も重なり、人出不足で満足に対応できるか心配」「ビール等値上がりしたのに販売価格は据え置き。野菜類が高い」などの声がかかれた。

タクシーの売上は、前月比、前年比共に増加も、「消費の上向き感はなく感じられない。利用者側もタクシーを含めていろいろな交通機関サービスを検討し利用する傾向にある」との声が寄せられた。「労働力不足が改善できないまま。業界全体で労働力の改善を検討しなければ、継続的なサービスができなくなるし、経営の悪化、破綻も現実化してくるのでは」という。

【企業からのコメント】

- ★事業承継が大きな課題。
- ★お客さまの倒産等が何件もあり、今後は気になる。
- ★今まで先方が負担していた運賃を請求されるようになった。
- ★急に暖かくなった事で、人の動きも少し活発になり、特に週末はどこのお店も忙しいようだ。
- ★近々、来年度の高卒者募集活動を始める。

飯田の気温と降水量



中小企業が使える補助金ガイド

飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課
中小企業支援アドバイザー 佐々木信高

経済産業省や中小企業庁では、今年度も足腰の強い経済を構築するため、日本経済の屋台骨である中小企業・小規模事業者に各種支援策を講じていく方向です。特に「生産性向上」をキーワードとして、中小企業が普段なかなか対応できない事業について重点的に施策を打ち出しています。人気の「ものづくり・商業サービス経営力向上支援補助金」は既に第1次募集が終わりましたので、現在募集中の補助金概要を掲載します。参考にしてください。

お問い合わせは、飯田信用金庫各支店または飯田信用金庫地域サポート部企業経営サポート課（TEL 0265-53-5811）まで。

「小規模事業者持続化補助金」

〈目的〉

持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓（創意工夫による売り方やデザイン改変等）の取り組みや業務効率化（生産性向上）の取り組みを支援するため、商工会・商工会議所の助言等を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等にに取り組む費用の助成をする。

〈対象者〉

小規模事業者

卸売業・小売業	常時使用する従業員の数	5人以下
サービス業（宿泊業・娯楽業以外）	常時使用する従業員の数	5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業	常時使用する従業員の数	20人以下
製造業その他	常時使用する従業員の数	20人以下

〈補助対象事業例〉

広告宣伝、集客力を高めるための店舗改装、展示会・商談会への出店、商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更 等

〈補助率〉

対象事業費の2/3 上限額50万円（賃上げの取り組み、海外展開の取り組み、買い物弱者対策等は100万円）

〈公募締め切り〉

平成30年5月18日（金）

〈その他〉

「生産性向上」「経営力向上計画」の加点あり

持続化補助金申請ポイント

持続化補助金に限らず、どの補助金申請でも共通するのは、「ストーリー」が重要だということです。新製品開発やサービスの優れている点などをいくら強調しても、ストーリーが感じられないと「どうなんだろう」と感じてしまいます。

申請書に記入するビジネスプランには「一貫性」「具体性」に加えて、根拠を持った「納得性」が必要です。

どんなに「良い製品をより安く提供したい」と記述しても、どの企業も同じ事を考えているのですから根拠が無い計画書では納得を得られません。それが難しいから、どの企業も努力や工夫をしているわけです。ともすれば、提供する製品やサービスの良さだけを一生懸命説明しがちになりますが、納得性（ストーリー）をいかに記述できるかがポイントになるでしょう。

例えば、

- ① 最近の顧客ニーズやマーケットがこう変化しています
→ 〈市場ニーズを捉える〉
- ② 当社は、このニーズに対応が十分とはいえません。また業界でも対応は難しく
→ 〈業界や同業他社の状況や課題〉
- ③ しかし、当社には、こういう強みがあり、これを活かしてニーズに対応出来ます
→ 〈当社の強みを活かす〉
- ④ そこで、補助事業は、こういったことに取り組みます
→ 〈アイディアをもった新サービス、新技術、新製品の内容〉

⑤ 具体的にはこういう内容です

→ 〈補助事業計画内容〉

⑥ これにより顧客ニーズはこうなり当社も売上や利益が出ます

→ 〈補助事業効果（費用対効果）〉

こういった流れならば納得を得られると思います。

しかし、こういった記述で審査評価を良くして補助金をもらうというだけでなく、実際の商売の問題として捉えてもらいたいと思います。設備をただで顧客開拓や売上増額の効果が出る事は無いと思います。貴社が実際にどの様な特徴を出していくかが重要なのです。

「消費税軽減税率対策補助金」

〈目的〉

消費税軽減税率制度（平成31年10月1日導入予定）の実施に伴い対応が必要となる中小企業・小規模事業者等に対して複数税率対応レジの導入や改修、受発注システムの改修等に要する経費の一部を補助することにより、導入等の準備が円滑に進むよう支援する制度です。

〈対象者〉

消費税の複数税率に対応する中小企業者・小規模事業者

〈補助対象事業と補助率〉

1. 複数税率対応のレジスターの購入、改修

補助率は、レジ本体と設置経費の3/4～2/3。1台あたり上限20万円。

2. POSレジ、システムの導入、改修

補助率は、レジ本体と設置経費の2/3～1/2。1台あたり上限20万円。

〈公募締め切り〉

平成31年12月16日（ただし、レジおよびシステムの導入または改修を終え、支払いを完了する期限は平成31年9月30日）

〈その他〉

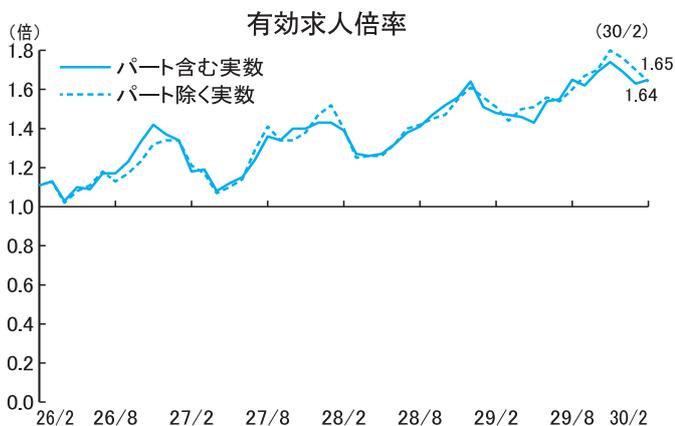
事前に指定された指定メーカー・指定ベンダーにより、あらかじめ補助金事務局に登録されたレジ、POSレジおよびPOSシステムであることが必要です。

飯田信用金庫では、2名の専門アドバイザーによる継続的な事業支援を行っています。

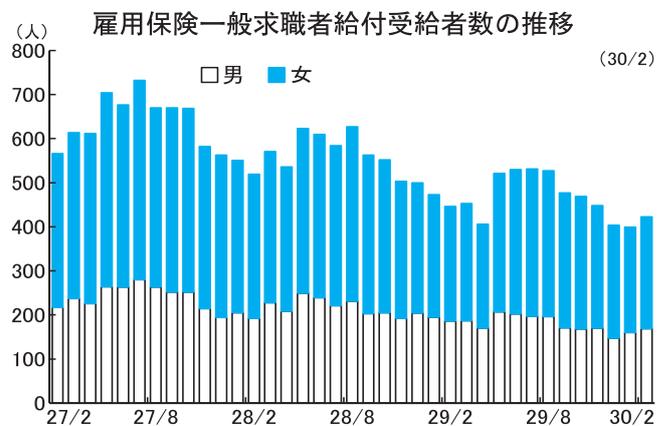
今回執筆を担当した当金庫専門アドバイザー 佐々木信高 は、商工会、商工会議所で地元中小企業の支援業務に長く携わった経験を基に、皆様の課題の解決に向けた取組のお手伝いをさせていただきます。

ご用命は、飯田信用金庫 地域サポート部 企業経営サポート課（飯田市本町1-2 飯田信用金庫4階 TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132）まで お気軽にお申し付けください。

雇用の状況



2月の月間有効求人倍率は、パートを含む実数で1.65倍と、前月から0.02ポイント上昇。パートを除く実数は1.64倍で、前月から0.06ポイント下降している。



2月の雇用保険一般求職者給付の受給者数は前月に比べ、男性は9人増加、女性も15人増加しており、全体では423人と前月から24人増加している。

（資料：ハローワーク飯田）

リニア時代を迎える飯伊地域の資源（1）

JR飯田線（1）

新シリーズとして、リニア中央新幹線開通を迎える当地域にはどのような資源があり、どのように育てていくか…。地域の課題や取り組みについて考えたい。

少し前になるが昨年秋、市立飯田中央図書館で「市制80周年記念事業図書館特別資料展 飯田線辰野～豊橋全通80周年」が開催された。昭和12年（1937年）に三信鉄道大嵐駅・小和田駅間が開通し辰野・豊橋駅間が全線開通となってからこの年で80周年を迎えた。奇しくも飯田市の市制施行80周年と重なり、それを記念してであった。

全線開通後、豊川鉄道、鳳来寺鉄道、三信鉄道、伊那電気鉄道による四社体制は昭和18年に国有化されて国鉄飯田線となり今に至っている。飯田線全通に至る逸話として伊原五郎兵衛翁や伊藤大八氏の尽力、建設にかかる川村カネト氏の奮闘など伝わるが、それぞれに取り上げられているので今回はそれはさておき、小欄として飯田線とはどのような特性を持つ路線かを改めて考察してみた。



飯田中央図書館特別資料展「飯田線辰野～豊橋全通80周年」
（平成29年10月28日～11月5日）

1. 地形と地域に寄り添う路線

多くの識者が指摘するように、飯田線の前身の鉄道各路線は、主に民間資金を募って建設が進められたため、直線的な線路を敷く大掛かりな工事ができず、等高線に沿うように敷設する現在の線形の路線となった。また地元要望を基に現在の駅が設置された、とされる。

旧国鉄からの分類の「地方交通線」に属するJRの路線で本州のものをまとめた（下表）。

JR本州地方交通線営業キロ順一覧表

	路線名	起 点	終 点	営業キロ (km)	駅数	平均駅間 距離(km)
1	高山本線	岐阜県 岐阜	富山県 富山	225.8	45	5.1
2	飯田線	愛知県 豊橋	長野県 辰野	195.7	94	2.1
3	芸備線	岡山県 備中神代	広島県 広島	159.1	44	3.7
4	姫新線	兵庫県 姫路	岡山県 新見	158.1	36	4.5
5	山田線	岩手県 盛岡	岩手県 釜石	157.5	28	5.8
6	五能線	青森県 川部	秋田県 東能代	147.2	43	3.5
7	水郡線	茨城県 水戸	福島県 安積永盛	137.5	45	3.1
8	只見線	福島県 会津若松	新潟県 小出	135.2	36	3.9
9	三江線	島根県 江津	広島県 三次	108.1	35	3.2
10	花輪線	岩手県 好摩	秋田県 大館	106.9	27	4.1
11	大船渡線	岩手県 一関	岩手県 盛	105.7	33	3.3
12	大糸線	新潟県 糸魚川	長野県 松本	105.4	42	2.6
13	飯山線	長野県 豊野	新潟県 越後川口	96.7	31	3.2

JR本州地方交通線平均駅間距離順一覧表

	路線名	起 点	終 点	営業キロ (km)	駅数	平均駅間 距離(km)
1	可部線	広島県 横川	広島県 あき亀山	15.6	14	1.2
2	小野田線	山口県 居能	山口県 小野田	11.6	9	1.5
3	飯田線	愛知県 豊橋	長野県 辰野	195.7	94	2.1
4	武豊線	愛知県 大府	愛知県 武豊	19.3	10	2.1
5	桜井線	奈良県 奈良	奈良県 高田	29.4	14	2.3
6	吉備線	岡山県 岡山	岡山県 総社	20.4	10	2.3
7	城端線	富山県 高岡	富山県 城端	29.9	14	2.3
8	身延線	静岡県 富士	山梨県 甲府	88.4	39	2.3
9	氷見線	富山県 高岡	富山県 氷見	16.5	8	2.4
10	加古川線	兵庫県 加古川	兵庫県 谷川	48.5	21	2.4

・JR時刻表から抽出
・三江線は平成30年3月末で廃線

飯田線は路線の長さ（営業キロ）で本州の地方交通線で高山本線に次いで第2位となる。本表ではベスト13まで挙げたが、県内の飯田・大糸・飯山の3線がこの中に入る（小海線は25位78.9km）。この路線キロ数を駅数で割ると平均駅間距離が計算できる。飯田線は営業キロが長い上に駅間距離は2.1kmとたいへん短い。駅間距離ランキングにすると、飯田線は第3位となる。このランキングで他路線は営業キロが10kmから40km台程度、飯田線は、長路線でありながらきめ細かく駅が配置されている路線、ということになる。

この特性、特に複雑な地形に沿った路線線形が飯田線の高速化を難しくしている。

2. 大都市近郊の輸送を担う路線

飯伊地区では想像し難いが、飯田線は東海地方都市近郊の重要交通機関である。豊橋～豊川駅間は複線区間で、朝の通勤時間帯には1時間に片道最多7本の列車が運行して通勤客を運ぶ。しかし、豊川駅より北は単線区間になり、新城駅または本長篠駅までの間は片道1時間最多で4本となる。そこから先は更に本数が少なくなる。



飯田線小坂井駅を発車する列車（豊川駅行き）

3. 首都圏へ向かうための路線

飯伊地区から飯田線に乗って東京へ向かう方は今どき殆どないであろう（中央自動車道経由で茅野駅からの「あずさ」利用は一定数みられるが）。ところが、上伊那地区に居住したことがある郡下男性（63）は、「上伊那の人が東京へ飯田線で行くことは結構ある」という。

- ① 飯田線利用の場合、岡谷駅で連絡。「あずさ」の全列車が停車する。駒ヶ根駅から岡谷駅まで約70分、伊那市駅からは約50分、伊那松島駅から約30分。
- ② 上伊那地区の事業所が出張で利用している。高速バスより定時性に優れる（到着時刻が計算できる）、快適性などから選択されている。
- ③ 駒ヶ岳ロープウェイへ飯田線を利用して来訪する観光客が一定割合ある。行楽期には駒ヶ根駅出札窓口は混雑する。

という現状がある。本号1頁中央道高速バス飯田・新宿線の3月乗車人数は29,392人。1日当たりで948人となるが、上伊那地区から飯田線で東京へ向かう人は1日当たり100人を超える程になるとみられる。

リニア駅周辺整備で飯田線に新設する乗換新駅の検討が進められる。これに関しては上伊那地区の方が熱心のように思われるが、このような上伊那地区住民の鉄道に対する意識が反映されているのでは、と考えられる。

4. 県境地域の生活を支える路線

特急伊那路を利用する際、県境の中部天竜駅、水窪駅、平岡駅などで地域人口を考慮すると相当数の乗降がみられる。これらの地域は、自家用車利用を別とすれば高速バスや一般バス路線の利用は難しく、飯田線が地域の生命線となっている。三遠南信自動車道が全通すれば新たな公共交通サービスが期待できるかといえば、例えば三遠南信自動車道によるバス路線などはかなり難しいのではないか。飯田線がこの地域の生活を支えるという役割は引き続き変わることはないと考えられる。



出馬駅付近（浜松市天竜区佐久間町）

5. 秘境駅を多く抱える路線

秘境駅とは、「駅と集落までの間の距離がある」「駅に車道が通じていない」などいくつかの条件を備えた駅、とされている。鉄道ファンの牛山秀樹氏の整理による全国の「秘境駅ランキング1～50位」（2017年版）によると、50位中、3位小和田駅、4位田本駅、7位金野駅、14位中井侍駅、17位為栗駅、26位千代駅の6駅がランクイン（認定）している。路線別では、飯田線は宗谷本線の11駅に次ぐ2位。3位は大井川鉄道の4駅となっている（発行日現在、<http://hp1.cyberstation.ne.jp/hikyoueki/Top50-2017.html>）。

（飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平）

主要経済統計

項目 年月	住宅着工戸数		高速バス乗車人数					
	飯伊地区		飯田～新宿		飯田～名古屋		飯田～長野	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	戸	%	人	%	人	%	人	%
平成24年	519	△ 6.8	328,149	1.6	186,582	△ 0.2	116,485	△ 1.8
25	737	42.0	325,892	△ 0.7	190,248	2.0	113,743	△ 2.4
26	569	△ 22.8	322,878	△ 0.9	195,359	2.7	112,889	△ 0.8
27	563	△ 1.1	329,654	2.1	203,315	4.1	124,261	10.1
28	634	12.6	326,157	△ 1.1	208,771	2.7	115,843	△ 6.8
29	705	11.2	327,875	0.5	218,764	4.8	115,698	△ 0.1
平成29.1	56	51.4	26,478	4.3	17,070	4.2	8,568	△ 2.1
2	42	△ 2.3	22,454	△ 1.9	16,616	10.0	8,629	0.1
3	69	35.3	29,945	△ 1.2	19,682	3.9	10,190	△ 2.5
4	32	△ 13.5	24,732	△ 1.9	17,300	15.6	9,870	△ 0.9
5	52	15.6	28,602	1.2	18,241	7.7	10,568	2.0
6	57	△ 10.9	23,964	6.1	15,883	6.9	9,907	0.1
7	53	△ 8.6	26,791	1.0	18,332	4.1	9,876	△ 1.0
8	69	△ 1.4	36,781	1.8	22,583	1.8	10,346	0.7
9	84	7.7	27,166	0.7	18,546	6.5	9,448	0.7
10	63	23.5	26,902	△ 4.1	18,323	△ 1.9	10,081	△ 1.9
11	80	60.0	25,790	0.8	18,215	3.4	9,454	1.8
12	48	△ 4.0	28,270	0.1	17,973	△ 0.6	8,761	1.8
平成30.1	52	△ 7.1	25,548	△ 3.5	17,511	2.6	8,370	△ 2.3
2	54	28.6	22,162	△ 1.3	16,857	1.5	8,467	△ 1.9
3	—	—	39,392	△ 1.8	20,443	3.9	10,045	△ 1.4
資料出所	長野県建設部住宅課		信南交通株式会社					

項目 年月	自動車新規登録台数 (松本登録事務所管内)				有効求人倍率	
	新車		中古車		長野県	飯田管内
	実数	前年比	実数	前年比	季節調整値(但、年平均は実数)	
	台	%	台	%	倍	倍
平成24年	32,028	28.4	7,390	5.8	0.81	—
25	30,532	△ 4.7	7,660	3.7	0.87	—
26	30,089	△ 1.5	7,058	△ 7.9	1.09	—
27	30,124	0.1	7,819	10.8	1.25	—
28	27,751	△ 7.9	7,433	△ 4.9	1.41	—
29	27,349	△ 1.4	7,274	△ 2.1	1.60	—
平成29.1	2,012	△ 8.5	387	△ 11.2	1.52	1.80
2	2,441	4.6	542	△ 5.4	1.53	1.61
3	4,018	1.3	884	△ 4.1	1.52	1.64
4	1,878	△ 5.7	717	2.4	1.54	1.57
5	1,928	△ 8.4	563	△ 3.9	1.56	1.62
6	2,524	1.6	669	△ 13.1	1.58	1.54
7	2,179	4.8	630	10.9	1.61	1.55
8	1,708	0.6	560	1.6	1.62	1.50
9	2,639	2.9	608	1.8	1.64	1.49
10	1,940	△ 10.7	594	△ 6.3	1.65	1.50
11	2,083	0.4	527	△ 2.0	1.67	1.44
12	1,999	△ 4.0	593	6.3	1.67	1.73
平成30.1	1,904	△ 5.4	422	9.0	1.70	1.55
2	2,356	△ 3.5	530	△ 2.2	1.65	—
3	3,854	△ 4.1	811	△ 8.3	—	—
資料出所	長野運輸支局松本自動車検査登録事務所				長野県労働局・ハローワーク飯田	

※数値は発表者によって予告なく改定されることがあります。

項目 年月	手形交換高		倒産件数 (負債額1千万円以上)		信用保証承諾 (飯田支所管内)	
	枚数	金額	長野県内	飯伊地区	新規保証	前年比
	枚	千円	件	件	件	%
平成24年	65,692	86,556,524	138	17	1,913	△ 10.3
25	60,405	81,013,729	113	8	2,018	5.5
26	55,798	58,747,886	97	6	2,057	1.9
27	51,892	58,937,709	86	12	2,120	3.1
28	47,284	53,411,735	88	8	2,004	△ 5.5
29	44,601	56,085,863	81	10	1,914	△ 4.5
平成29.1	3,950	5,080,674	6	2	116	3.6
2	3,713	5,233,036	4	1	159	△ 1.2
3	4,109	5,024,211	8	2	266	△ 4.0
4	3,188	3,500,980	10	3	127	△ 3.8
5	4,310	5,306,503	9	0	122	△ 11.6
6	3,757	5,119,941	9	0	160	1.3
7	3,702	4,130,157	7	0	148	△ 18.7
8	3,658	4,763,709	5	0	167	12.1
9	3,123	4,551,456	6	1	179	1.7
10	4,055	4,483,553	7	1	142	△ 3.4
11	3,500	4,344,046	4	0	142	△ 14.5
12	3,536	4,547,597	6	0	186	△ 9.7
平成30.1	3,893	5,249,904	8	1	134	15.5
2	3,528	4,262,385	8	0	159	0.0
3	3,186	4,515,904	11	3	207	△ 22.2
資料出所	飯田手形交換所		南信州地域振興局商工観光課		長野県信用保証協会飯田支店	

項目 年月	中央道利用台数 (インターチェンジ出入合計)							
	飯田 I C		松川 I C		園原 I C		山本 I C	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
	台	%	台	%	台	%	台	%
平成24年	2,933,104	0.5	1,913,719	3.4	376,518	1.2	1,010,571	6.3
25	2,970,606	1.3	1,939,863	1.4	417,360	10.9	1,070,386	5.9
26	2,782,563	△ 6.3	1,835,138	△ 5.4	364,566	△ 12.6	979,398	△ 8.5
27	2,780,683	△ 0.1	1,821,617	△ 0.7	435,939	19.6	1,047,675	7.0
28	2,755,469	△ 0.9	1,819,412	△ 0.1	375,892	△ 13.8	1,022,578	△ 2.4
29	2,759,316	0.1	1,865,085	2.5	368,243	△ 2.0	1,018,661	△ 0.4
平成29.1	205,978	△ 0.5	130,174	3.2	27,023	△ 11.3	68,660	△ 3.7
2	191,670	△ 2.3	123,792	1.2	25,369	△ 15.0	64,582	△ 7.3
3	235,070	△ 0.6	149,971	2.2	27,553	△ 8.3	80,561	△ 1.5
4	222,552	1.3	145,101	4.7	35,626	△ 8.0	83,199	△ 1.1
5	239,594	2.5	156,788	4.8	45,911	32.4	95,068	7.0
6	225,614	2.4	151,622	4.4	20,961	7.7	75,668	2.0
7	238,975	0.7	161,110	3.4	28,150	△ 2.7	86,946	△ 0.6
8	257,394	0.0	173,967	3.2	40,285	△ 1.7	114,513	2.2
9	232,110	1.2	163,879	3.6	30,041	5.8	88,346	5.4
10	238,349	△ 3.6	169,371	△ 1.6	29,164	△ 21.3	89,392	△ 8.6
11	244,783	1.1	183,681	1.5	33,614	2.6	95,565	1.5
12	227,227	△ 0.6	155,629	0.1	24,546	△ 0.1	76,161	△ 1.5
平成30.1	206,724	0.4	134,680	3.5	26,534	△ 1.8	67,166	△ 2.2
2	194,834	1.7	128,291	3.6	25,793	1.7	63,376	△ 1.9
3	234,949	△ 0.1	152,182	1.5	28,439	3.2	79,385	△ 1.5
資料出所	中日本高速道路(株)名古屋支社飯田保全サービスセンター							